

令和6年度事業報告

1 概 要

国内経済は、インバウンド需要の回復や賃金上昇等を受けて緩やかに持ち直しているものの、個人消費は食料品等の高騰から伸び悩みの状況にある。一方、企業による設備投資は、人手不足やデジタル化・脱炭素化等を背景に拡大傾向が続いている。

このような中、配合飼料価格は、大きな天候不順等もなく、とうもろこしや大豆粕等の原料価格や海上運賃は比較的安定して推移したものの、為替相場の変動等が大きかったことから不安定な推移となった。

一方、畜産物価格は、国内消費の停滞等から生産資材の高止まりに見合う販売価格の実現が難しい状況が続き、生産者は飼料価格差補てんの発動がない中で厳しい経営を強いられた。

2 事業実績

1) 配合飼料価格安定対策

(1) 配合飼料価格差補てん事業

ア 契約及び解約、移動実績

年度当初の契約は、124 戸・100,000 トンであったが、年度途中での肉用牛 1 戸の廃業により 13 トンの解約があった。

○契約者及び年間契約数量（当初）

（戸、t、%）

区分	令和6年度		令和5年度		対前年比	
	契約者	契約数量	契約者	契約数量	契約者	契約数量
乳用牛	14	2,769	13	2,740	107.7	101.1
肉用牛	89	17,303	89	17,843	100.0	97.0
豚	5	15,568	5	15,472	100.0	100.6
採卵鶏	12	42,665	12	42,200	100.0	101.1
肉用鶏	4	21,695	4	22,180	100.0	97.8
計	124	100,000	123	100,435	100.8	99.6

○四半期別契約実績

（戸、t）

区 分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
R6年4月 1日時点	契約者	124	124	124	124	124
	契約数量	24,699	23,860	26,084	25,357	100,000
年度途中 解約	契約者				1	1
	契約数量				13	13
年度途中	契約者					0

変更	契約数量					0
R7 年 3 月	契約者	124	124	124	123	123
31 日時点	契約数量	24,699	23,860	26,084	25,344	99,987

○解約及び契約変更状況

(戸、t)

区 分		乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	計
廃 業	契約者		1				1
	契約数量		13				13
購 入 取 り 止 め	契約者						0
	契約数量						0
他 基 金 へ移動	契約者						0
	契約数量						0
他基金か ら移動	契約者						0
	契約数量						0

イ 通常補てん積立金及び別途納付金積立実績

通常補てん積立金の積立は、契約者 124 戸、契約数量 99,987 トンで 79,989,600 円となり、別途納付金の対象はなかった。

(戸、t、円)

区分	通常補てん積立金			別途納付金		
	契約者	契約数量	積立額	契約者	契約数量	納付額
第 1 四半期	124	24,699	19,759,200			0
第 2 四半期	124	23,860	19,088,000			0
第 3 四半期	124	26,084	20,867,200			0
第 4 四半期	123	25,344	20,275,200			0
計	124	99,987	79,989,600			0

ウ 補てん金交付実績

通常補てん金の財源不足を補う長期資金の借入額を抑えるため、令和 4～5 年度において分割交付が実施され、第 1 四半期には令和 5 年第 2 四半期分の最後の分割交付が行われた。

なお、令和 6 年度は、平均輸入原料価格は高止まったものの、直近 1 年間の基準輸入原料価格が高く推移したことから価格差補てんは発動しなかった。

(戸、kg、円/ t、円)

区分	種類	対象者	対象数量	補てん 金単価	補てん金額	通常・異常補 てん金合計
第1 四半期	通常(R5 第2 四半期継続)	115	22,528,655	1,450	32,666,546	32,666,546
	異常	0	0	0	0	
第2 四半期	通常	0	0	0	0	0
	異常	0	0	0	0	
第3 四半期	通常	0	0	0	0	0
	異常	0	0	0	0	
第4 四半期	通常	0	0	0	0	
	異常	0	0	0	0	
計	通常	115	22,528,655	—	32,666,546	32,666,546
	異常	0	0	—	0	

〈参考〉令和5年度実績

(戸、kg、円/ t、円)

区分	種類	対象者	対象数量	補てん 金単価	補てん金額	通常・異常補 てん金合計
第1 四半期	通常(R4 第2 四半期継続)	116	22,820,368	1,363	31,104,126	166,205,566
	通常(R4 第3 四半期継続)	116	24,411,393	1,813	44,257,830	
	通常(R5 第1 四半期継続)	119	23,419,350	1,059	24,801,063	
	異常	0	0	0	0	
	緊急補てん金	119	23,419,350	2,820	66,042,547	
第2 四半期	通常(R4 第3 四半期継続)	114	24,267,893	1,813	43,997,665	136,648,260
	通常(R4 第3 四半期精算)	2	143,500	1,813	260,165	
	通常(R5 第1 四半期継続)	117	23,403,275	1,057	24,737,233	
	通常(R5 第1 四半期精算)	2	16,075	1,057	50,973	
	通常(R5 第2 四半期継続)	117	22,534,075	900	20,280,667	
	異常	0	0	0	0	
	緊急補てん金	117	22,534,075	2,100	47,321,557	
第3 四半期	通常(R5 第1 四半期継続)	117	23,403,275	1,057	24,737,233	
	通常(R5 第2 四半期継続)	117	22,534,075	400	9,013,630	

	通常(R5 第3 四半期継続)	117	24,005,800	3	71,990	43,905,273
	異常	0	0	0	0	
	緊急補てん金	117	24,005,800	420	10,082,420	
第4 四半期	通常(R5 第1 四半期継続)	115	23,396,295	1,057	24,729,856	48,810,331
	通常(R5 第1 四半期精算)	2	6,980	1,057	7,377	
	通常(R5 第2 四半期継続)	115	22,528,655	400	9,011,462	
	通常(R5 第2 四半期精算)	2	5,420	400	10,027	
	通常(R5 第3 四半期継続)	115	24,002,140	627	15,049,315	
	通常(R5 第3 四半期精算)	2	3,660	627	2,294	
	異常	0	0	0	0	
	緊急補てん金	0	0	0	0	
計	通常	119	117,190,986	—	272,122,906	395,569,430
	異常	0	0	—	0	
	緊急補てん金	119	69,959,225	—	123,446,524	

(2) その他飼料関係事業

畜産経営の継続を図るため、県による飼料価格高騰対策が実施されて339,955,800円が交付された。

事業名	事業内容	交付対象数量・金額
配合飼料価格高騰対策支援事業 (当初)	令和6年度の配合飼料契約数量に3,400円/tを乗じた額を補助する。	参 加 者 118 戸 対象数量 99,987 t 交 付 額 339,955,800 円

2) 畜産振興対策

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

個体登録申込頭数は、子牛価格の低下等から黒毛和種の導入が増加して対前年比104%の3,460頭となった。

また、飼料価格の高止まりや枝肉価格の低迷等から、肉専用種及び乳用種はほぼ継続して、交雑種は6月～10月の間で補てんが行われ、全体で1,856頭に対して47,702,734円の補てん金が交付された。

○個体登録申込頭数及び生産者負担金積立実績(令和6年1月～12月) (頭、円/頭、円)

参加者	品種	個体登録 申込頭数	個体登録頭数	負担金単価	負担金積立額
21 戸	肉専用種	1,408 (1,233)	1,276 [1,300]	5,000 (13,000)	8,313,000 (20,146,000)
	交雑種	1,908 (1,956)	1,883 [1,800]	13,000 (17,000)	24,589,000 (29,224,000)
	乳用種	144 (148)	148 [150]	10,000 (14,000)	1,622,000 (2,620,000)
	計	3,460 (3,337)	3,307 [3,250]	—	34,524,000 (51,990,000)

(注) () 内は令和5年実績。[]は計画頭数

○補てん金交付実績(令和6年1月～12月) (頭、円)

月	肉専用種		交雑種		乳用種		計	
	頭数	交付額	頭数	交付額	頭数	交付額	頭数	交付額
1	124	1,398,676	0	0	14	221,141	138	1,619,817
2	137	3,417,625	0	0	12	223,386	149	3,641,011
3	114	3,265,137	0	0	10	354,807	124	3,619,944
4	0	0	0	0	10	190,215	10	190,215
5	71	1,347,455	0	0	18	627,247	89	1,974,702
6	89	1,729,359	155	3,606,210	14	574,509	258	5,910,078
7	98	3,965,027	147	5,732,160	16	790,228	261	10,487,415
8	71	5,807,611	151	577,979	12	647,070	234	7,032,660
9	113	6,122,846	158	876,943	14	729,589	285	7,729,378
10	99	3,077,421	164	570,323	18	766,340	281	4,414,084
11	0	0	0	0	12	478,807	12	478,807
12	0	0	0	0	15	604,623	15	604,623
計	916	30,131,157	775	11,363,615	165	6,207,962	1,856	47,702,734

(2) 肉用子牛生産関係事業

ア 肉用子牛生産者補給金制度

個体登録申込頭数は、交雑種等でやや減少して全体で対計画比 93% の 466 頭となった。

また、子牛価格は、枝肉価格の低下等から低下傾向で推移し、黒毛和種では第 1・2 四半期に 43 頭に対して 1,991,800 円、その他肉専用種で令和 5 年度第 4 四半期に 24 頭に対して 2,172,240 円の補給金が交付された。

○個体登録申込頭数及び生産者負担金積立実績(令和 6 年 1 月～12 月) (頭、円/頭、円)

参加者	品種	個体登録(申込)頭数	負担金単価	負担金積立額
5 戸	黒毛和種	100 [100]	400	40,000
	その他肉専用種	21 [30]	4,700	98,700
	交雑種	220 [270]	800	176,000
	乳用種	125 [100]	1,700	212,500
	計	466 [500]	—	527,200

(注) []内は計画頭数

○補給金交付実績 (令和 6 年 1 月～12 月)

(頭、円)

区分		黒毛和種	その他肉専用種	交雑種	乳用種	計
R5 年度 第 4 四半期	頭 数	0	24	0	0	24
	交付単価	0	90,510	0	0	—
	交付額	0	2,172,240	0	0	2,172,240
R6 年度 第 1 四半期	頭 数	19	0	0	0	19
	交付単価	22,600	0	0	0	—
	交付額	429,400	0	0	0	429,400
第 2 四半期	頭 数	24	0	0	0	24
	交付単価	65,100	0	0	0	—
	交付額	1,562,400	0	0	0	1,562,400
第 3 四半期	頭 数	0	0	0	0	0
	交付単価	0	0	0	0	—
	交付額	0	0	0	0	0
計	頭 数	43	24	0	0	67
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	1,991,800	2,172,240	0	0	4,164,040

イ 優良和子牛生産推進緊急支援事業(和子牛生産者臨時経営支援事業)

子牛価格の急落に伴う繁殖経営支援のため、和子牛生産者臨時経営支援事業(令和 5 年度第 4 四半期～令和 6 年度第 1 四半期)及び優良和子牛生産推進緊急支援事

業（令和6年度第2四半期～）が実施され、市場取引された黒毛和種子牛30頭に対して812,000円（1戸）の奨励金が交付された。

○奨励金交付実績（令和6年1月～12月）（頭、円/頭、円）

区分		黒毛和種	その他肉専用種	計
R5年度 第4 四半期	頭数	11	0	11
	交付単価	22,000	0	—
	交付額	242,000	0	242,000
R6年度 第1 四半期	頭数	5	0	5
	交付単価	30,000	0	—
	交付額	150,000	0	150,000
第2 四半期	頭数	6	0	6
	交付単価	30,000	0	—
	交付額	180,000	0	180,000
第3 四半期	頭数	8	0	8
	交付単価	30,000	0	—
	交付額	240,000	0	240,000
計	頭数	30	0	30
	交付単価	—	—	—
	交付額	812,000	0	812,000

ウ 繁殖雌牛増頭関係事業

高齢の繁殖雌牛を計画的に優良雌子牛に更新する取組に2戸が参加し、12頭に対して1,200,000円の奨励金が交付された。

事業名	実績
優良繁殖雌牛更新加速化事業	参加者2戸、交付頭数12頭 交付額1,200,000円

（3）畜産高度化支援リース事業

クラスターリース2戸・2件の新規貸付けを行い、年度末の貸付け実績は11戸・16件となった。

（円）

区分	貸付件数	貸付金額	令和5年度末残高	令和6年度納入額	令和6年度末残高
堆肥調整保管リース	2戸・2件	12,049,902	4,547,069	517,433	4,029,636
経営リース	7戸・7件	29,396,548	10,524,458	3,348,212	7,176,246
クラスターリース	4戸・7件	18,175,175	9,528,406	2,377,783	11,252,414
計	11戸・16件	59,621,625	24,599,933	6,243,428	22,458,296

（注）動産総合保険料及び保証保険料を含む。

畜産高度化支援リース事業貸付実績(令和6年度)

○ 直接リース

(円)

No	種類	機械施設名	数量	貸付開始 年月日	～ 年月日	譲渡 年月日	取得価格	貸付金額	令和5年度 期末残高	令和6年度支払額		令和6年度 期末残高
										貸付料等	譲渡価格	
1	堆肥保管	堆肥置場(1/2補助)ホイルローダー含む	1	H25.11.14	～	R13.4.30	3,425,000	6,019,150	2,030,376	221,848	0	1,808,528
		堆肥置場(ホイルローダー)	1	H25.11.14	～	R3.4.30	1,400,000					
2	堆肥保管	堆肥保管(1/2補助)	1	H26.6.26	～	R13.8.31	4,500,000	6,030,752	2,516,693	295,585	0	2,221,108
3	経営	トラクター	1	H29.3.13	～	R6.3.12	5,182,000	5,809,747	559,656	0	559,656	0
4	経営	冷凍冷蔵ショーケース 冷凍機	5 1	H29.5.8	～	R8.5.7	5,752,000	6,569,811	2,044,256	636,922	0	1,407,334
5	経営	堆肥袋詰め機	1	H31.2.7	～	R8.2.6	3,580,000	4,028,355	1,394,242	506,202	0	888,040
6	経営	スキッドステアローダー パレットフォーク	1	R2.2.20	～	R9.2.19	2,700,000	3,101,842	1,463,342	392,440	0	1,070,902
7	経営	ホイルローダー	1	R2.4.28	～	R9.4.27	4,600,000	5,287,755	2,493,134	668,589	0	1,824,545
8	経営	スキッドステアローダー	1	R2.5.27	～	R9.5.26	2,800,000	3,227,920	1,789,200	409,440	0	1,379,760
9	クラスター	ホイルローダー	1	R2.7.16	～	R9.10.15	1,900,000	2,274,701	1,186,610	286,010	0	900,600
10	経営	ローラー	1	R2.11.2	～	R9.11.1	1,200,000	1,371,118	780,628	174,963	0	605,665
11	クラスター	堆肥運搬車	1	R3.2.24	～	R7.2.23	3,550,000	4,060,426	1,314,484	887,744	0	390,500
12	クラスター	トラクター、ロータリー	2	R5.4.24	～	R12.4.23	2,646,500.0	3,032,233	2,620,704	398,822	0	2,221,882
13	クラスター	スキッドステアローダー	1	R5.11.15	～	R12.11.14	2,375,000	2,776,920	2,637,469	364,363	0	2,273,106
14	クラスター	細霧装置	1	R5.10.3	～	R12.10.2	1,605,000	1,892,864	1,769,139	248,361	0	1,520,778
15	クラスター	ホイルローダー	1	R7.1.21	～	R14.1.20	3,000,000	3,542,484	0	192,483	0	3,350,001
16	クラスター	超音波画像診断装置	1	R7.3.19	～	R14.3.18	510,000	595,547	0	0	0	595,547
計		11戸・16件					50,725,500	59,621,625	24,599,933	5,683,772	559,656	22,458,296

※動産保険料、保証保険料を含む。

(4) 養豚及び養鶏経営安定対策

- ・ 山口県養豚協会の賛助会員及び山口県養鶏協会の正会員として、協会運営等を支援した。
- ・ 養豚1戸の畜産クラスター事業（機械導入事業）の目標達成状況調査（令和2年度導入分等）を実施した。

(5) 山口県全日本畜産経営者協会事務局業務

- ・ 8月20日に山口市内で通常総会を開催するとともに、「飼料価格高騰を踏まえた日本の畜産の現状と将来展望」をテーマとした公開研修会を開催した。
- ・ 定期的な畜産関係情報の提供をはじめ、会員による情報収集や畜産クラスター事業（機械導入事業）の実施を支援した。

3) 会議の開催（理事会及び定時総会）

開催月日	内 容
R6. 4. 19	令和 5 年度監査（山口県葵庁舎） 監事意見：特に指摘等はなし 第 112 回理事会（防長苑） 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び計算書類について 第 2 号議案 第 49 回定時総会の提出議案について 第 3 号議案 その他 〈報告事項〉 ア 令和 6 年度事業計画及び収支予算について イ 令和 5 年度の主要会議・行事等への出席状況について ウ 会員の退会について
R6. 5. 28	第 49 回定時総会（防長苑） 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び計算書類の承認について 第 2 号議案 令和 6 年度会費の額及び徴収方法、徴収時期の承認について 第 3 号議案 令和 6 年度役員報酬総額の承認について 第 4 号議案 定款の一部変更について 第 5 号議案 役員改選について 第 6 号議案 その他 〈報告事項〉 ・ 令和 6 年度事業計画及び収支予算について
R6. 5. 28	第 113 回理事会（防長苑） 第 1 号議案 理事長及び常務理事の選任について 第 2 号議案 その他
R7. 3. 18	第 114 回理事会（山口県宮野庁舎） 第 1 号議案 令和 7 年度事業計画及び収支予算について 第 2 号議案 令和 7 年度会費の額及び徴収方法、徴収時期について 第 3 号議案 第 50 回定時総会の招集について 第 4 号議案 その他 〈報告事項〉 ア 令和 6 年度事業実績及び収支決算見込みについて イ 令和 6 年度の主要会議・行事等への出席状況について